

市民1人当たりの予算約36万4千円の使い道

○子育て支援や高齢者の医療など福祉の充実に約14万4千円



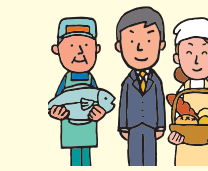
○市債の返済に約4万2千円



○市議会や市の運営などに約3万4千円



○商業・観光・農林水産業の振興に約1万1千円



※今年1月1日現在の人口(604,369人)で計算

○道路や公園、住宅などの整備に約6万1千円



○教育や文化の振興に約3万7千円



○環境や衛生の向上のために約2万5千円



○消防・救急に約1万円

積極型の平成22年度一般会計当初予算
活力と魅力あるまちづくりへ向けて

平成22年度一般会計・特別会計・企業会計当初予算の状況

会計名	予算額	対前年度比
一般会計(通常の市政を行う経費)	2,197億4,000万円	7.4%増
特別会計(特定の収入で、その仕事に使う支出をまかなう会計)	1,026億7,200万円	1.9%増
企業会計(地方公営企業の会計)	565億3,400万円	4.3%減
合計	3,789億4,600万円	4.0%増

一般会計(通常の市政を行う経費)	2,197億4,000万円	7.4%増
特別会計(特定の収入で、その仕事に使う支出をまかなう会計)	1,026億7,200万円	1.9%増
企業会計(地方公営企業の会計)	565億3,400万円	4.3%減
合計	3,789億4,600万円	4.0%増

一般会計当初予算額2,197億4,000万円

子育て支援や高齢者の医療など福祉の充実に

道路や公園、住宅などの整備に

市債の返済に

教育や文化の振興に

環境や衛生の向上に

消防費 57億6,643万円(2.6%)

消防・救急に

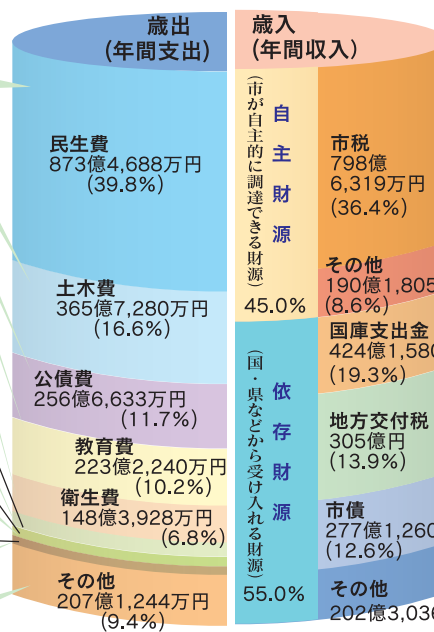
商工費 37億6,773万円(1.7%)

商業・観光の振興に

農林水産業費 27億4,571万円(1.2%)

農林水産業の振興に

市議会・市の運営などに



市民税や固定資産税など

使用料や手数料など

国が市の特定事業に出すお金

国から交付されるお金、使い道は市が自由に決められる

銀行などから借り入れるお金(返済時に国から一部補てんあり)

県が市の特定事業に出すお金など

歳入は市税が減る一方、国庫支出金など大幅に増加

歳入で最も大きいのは、市税の約798億6,000万円になります。景気低迷の影響で個人法人市民税などが減少したことにより、前年度に比べ約11億9,000万円減少しましたが、国庫支出金約94億5,000万円増加したほか、国の地方財政対策に伴い、地方交付税などが増加しました。歳出は、社会保障関係経費や都市基盤整備などの経費の増

歳出は新幹線全線開業などに

対応する積極型予算



平成22年度当初予算案を発表する森市長

「人とみどりが輝く」まちづくりを進めるために

一般会計当初予算のポイント

大が見込まれ、財政状況の厳しさが増えています。こうした厳しい財政状況の中で、財政の健全性を引き続き維持しつつ、徹底した事務事業の見直しなどを行いながら、来年3月の九州新幹線全線開業に向けた対応や雇用対策・地域経済の活性化に十分に配慮するなど、将来を見据えた活力と魅力あるまちづくりへ向けた積極型予算を編成し、本市のまちづくりのスローガンである「人とみどりが輝くまち・かごしまの創造」の実現を目指します。

平成22年度の予算編成に当たって

今年度、全線開業する九州新幹線
経済・雇用問題
地球環境問題
国・地方を通じた厳しい財政状況

地方分権・新時代への移行を見据えて

「人とみどりが輝くまち・かごしま」の創造に向けた5つの重点的取組項目

- 1 "新幹線・大交流時代" オリジナリティを生かした活力都市の創造
- 2 "地球環境時代をリード" みどり輝く共生都市の創造
- 3 "学ぶよろこび・育むぬくもり" 心の豊かさ実感都市の創造
- 4 "みんなの笑顔を安心サポート" 安全・快適都市の創造
- 5 "市民のために・市民とともに" 協働・連携重視の効率的な行財政運営

第四次総合計画を推進するために

※右の取り組みで紹介した以外の主な事業を掲載

●安心して健やかに暮らせるまち(安心健康都市)

- ・避難勧告支援システム構築事業(3,819万2千円)
防災対策のさらなる強化に向け、迅速・的確な避難勧告を発令するためのシステムを新たに構築します
- ・子育て支援情報システム整備事業(871万2千円)
子育て情報を掲載したホームページの作成とインターネットによる「すこやか子育て交流館」の施設予約システムを整備します

●豊かな心と個性を育むまち(個性創造都市)

- ・玉里邸庭園整備事業(4,481万3千円)
国の名勝指定を受けた玉里邸庭園の来年春の一般公開に向けて、庭園、黒門の修復や駐車場などの整備を行います
- ・町内会加入促進緊急支援事業(180万円)
町内会が行う加入促進事業の経費を助成します(平成22年~24年度)

●人と自然にやさしい快適なまち(快適環境都市)

- ・低公害車の導入促進(1億3,461万7千円)
大気汚染の防止や温室効果ガスの排出削減による地球温暖化を防止するため、電気自動車などの低公害車を導入します
- ・平川動物公園リニューアル事業(9億9,055万9千円)
引き続き、世界のクマゾーンや足湯などを整備し、インドの森ゾーンなどの整備も開始します

●機能的で多彩な交流が広がるまち(交流拠点都市)

- ・かごしままち巡り推進事業(250万円)
魅力あるまち巡りを進めるため、県内外の大学生と連携し、既存の地域資源などを生かした周遊ネットワーク化を図るなどの相乗効果を生み出す仕掛けづくりの検討を行います
- ・ぐるっとかごしまスタンプラリー事業(140万円)
対象を旧5町地域から全市域に拡大して実施します

●にぎわいと活力あふれるまち(産業活力都市)

- ・冬季光の回廊事業(838万7千円)
冬季の観光客誘致と夜の回遊性の向上を図るため、マイアミ通りからドルフィンポート、みなと大通り公園につながるイルミネーションを設置します
- ・新事業創出・販路開拓支援事業(1,032万2千円)
新規創業や経営革新に取り組む中小企業者育成のため、新規創業者のビジネスアイデアの事業化や販路開拓などを支援します

“市民のために・市民とともに”
協働・連携重視の効率的な行財政運営

協働のまちづくりの推進と質の高い市民サービスの提供

- 地域まちづくりワークショップ事業(708万円)
市民と行政との協働による個性的なまちづくりを進めるため、新たに地域まちづくりワークショップが行う地域プランに基づく取り組みを支援します
- ワンストップ窓口設置事業(163万4千円)
ワンストップ窓口の設置に向けたシステム開発や市民課窓口の混雑解消を図るため、受付番号発券機の設置などを行います

自主自立の効率的な行財政運営

- 次期総合計画策定事業(650万7千円)
来年度の次期総合計画策定に向け、基本構想の素案の作成や総合計画審議会、市民との意見交換会などを開催します

今年度予算で行う経済・雇用対策

依然として厳しい経済雇用情勢を踏まえ、次のような対策を行います。

雇用対策 約9億7千万円

- 緊急雇用創出事業臨時特別基金事業(約4億1千万円)
ふるさと雇用再生特別基金事業(約3億8千万円)
道路施設清掃事業やソーシャルビジネス育成・支援事業など62事業を実施し、320人の雇用を創出します
- 本市採用の嘱託員の増員(約1億8千万円 95人増)

中小企業者への金融支援 融資枠約226億円

経営安定化資金の緊急特別対策の期間を延長し、保証付融資全体の融資枠を確保します

公共事業の増額 約414億5千万円

土地区画整理事業の推進や道路、橋りょう、交通安全施設、公共下水道などを整備します

その他 約20億1千万円

“みんなの笑顔を安心サポート”
安全・快適都市の創造

きめ細やかな健康福祉施策の推進

- 高齢者ふれあい・仲間づくり推進事業(434万4千円)
「高齢者ふれあい・仲間づくり強化月間」を設け、民生委員や健康づくり推進員などが閉じこもりがちな高齢者に声かけ活動を行い、地域での仲間づくりや社会参加を促進します
- 特定健康診査・特定保健指導事業(2億6,395万7千円)
- 後期高齢者長寿健診事業(7,488万8千円)
生活習慣病などの早期発見、重症化の予防を行うための特定健康診査、長寿健診を充実します
- 食育推進事業(526万円)
市民が自主的に食育に取り組む環境づくりを行います

安心安全な地域社会づくり

- 住宅用火災警報器設置促進事業(9,695万8千円)
安心安全火の用心サポーターによる訪問調査・啓発を行うなど、来年5月末までの設置に向けた取り組みを強化します
- 消費生活エキスポかごしま事業(150万円)
消費者情報の発信や消費者への啓発を積極的に行うための体験型イベントを開催します

人にやさしい快適な都市環境づくり

- 公共交通ビジョン推進事業(529万6千円)
都市景観・観光資源の面から路面電車などを有効活用する調査検討を行います
- 公共交通不便地対策事業(8,979万2千円)
吉野・谷山・喜入に加え、新たに皆与志や小山田など4地域(8エリア)で「あいばす」の運行を開始します

“学ぶよろこび・育むぬくもり”
心の豊かさ実感都市の創造

子育て支援

- すこやか子育て交流館施設整備事業(2億7,500万円) ※今年10月オープン
- 子ども手当(104億4,777万5千円)
中学校修了前までの子どもを対象に支給します(子ども1人月額1万3千円)
※詳しくは健康福祉特集号をご覧ください
- 児童扶養手当(30億6,114万1千円)
支給対象を父子家庭まで拡充します

次代を担う子どもたちの育成

- 学校支援ボランティア事業(4,136万6千円)
地域住民による学校支援ボランティア活動の参加を促進し、地域住民と児童生徒との交流を図る「学校支援ボランティア」を42校に拡大します
- 学校施設緑化推進事業(1億2,824万円)
屋上緑化(中郡小学校、校庭の芝生化(小・中学校6校)、緑陰空間の整備(小・中学校11校)を実施します

生涯学習体制の充実

- 新鴨池公園水泳プール整備・運営事業(30億6,777万5千円)
来年4月の供用開始を目指し、PFI事業者による整備を進めます
- 2011年世界室内自転車競技選手権鹿児島大会開催事業(2,060万円)
来年11月開催に向けた準備を進めます

文化芸術に触れる機会の創出

- かごしま近代文学館・メルヘン館リニューアル事業(4億9,319万3千円)
子どもから大人までのあらゆる世代がさらに興味を持ち、魅力を感じる施設展示に改修します(来年3月オープン)

“地球環境時代をリード”
みどり輝く共生都市の創造

環境にやさしいまちづくり

- 第二次環境基本計画・地球温暖化対策アクションプラン策定事業(1,987万8千円)
第二次環境基本計画・地球温暖化対策アクションプランの策定に向け、市民や事業者へのアンケート調査を実施します
- 省エネ・グリーン化推進事業(1億2,298万3千円)
温室効果ガス排出量の削減に向け、公共施設への太陽光発電システム設置や複合的な省エネ改修を実施します
- 電動アシスト自転車普及促進事業(1,500万円)
- 住宅用太陽光発電導入促進事業補助金(1億125万円)
電動アシスト自転車や住宅用太陽光発電システムの普及を促進し、温室効果ガスの削減を進めます
- 環境子どもサミット開催事業(249万円)
次代を担う子どもたちが環境問題について話し合う環境子どもサミットを開催します

豊かな緑の保全・創出

- 全国都市緑化フェア開催事業(4億6,976万2千円)
九州新幹線全線開業に合わせて、第28回全国都市緑化かごしまフェアを開催します
- 市電軌道敷緑化整備事業(2億8,005万2千円)
道路併用区間の軌道敷緑化を引き続き進め、専用軌道区間の電停付近の緑化の可能性を調査します
- まちと緑のハーモニープラン策定事業(55万2千円)
人と自然が調和した潤いのある都市・自然景観を演出する豊かな緑を保全・創出するため、緑のまちづくりの基本計画を策定します

“新幹線・大交流時代”
オリジナリティを生かした活力都市の創造

魅力あふれる観光都市鹿児島島の創造

- かごしま観光PRキャンペーン隊宣伝活動事業(5,979万5千円)
関西以西で開催されるイベントに派遣するなど、宣伝活動を実施します
- 甲突川右岸緑地整備事業(2億5,202万6千円)
今年8月のオープンに向け、ナポリ通り沿いの甲突川右岸緑地に観光交流センターなど市民や観光客が楽しく周遊・散策できる空間を整備します
- 観光農業公園整備事業(7億2,626万8千円)
都市と農村の交流を促進し、地域資源を活用した観光農業の振興を図り、資源循環型のゼロエミッションを目指した観光農業公園を整備します

経済・雇用対策と産業活力の創出

- 三市連携伝統的工芸品活路開拓事業(962万5千円)
- 三市連携地場企業販路拡大推進事業(428万8千円)
福岡市、熊本市と連携して、本市の伝統的工芸品や市内の中小企業者の商品の販路開拓を図るため、プロモーションなどを合同で実施します
- 中心市街地にぎわい支援事業(3,618万円)
中心市街地のにぎわいの創出や回遊性の向上に努め、中心市街地の活性化を図るため、まちなかサロンの運営や空き店舗対策などを実施します
- 新規就農者支援対策事業(4,112万8千円)
市内の農業生産法人などを活用して、就農希望者を新たに雇用し、営農技術などを学ぶ機会の創出や先進農家が営農相談などを行う新規就農里親制度を創設します